

平成25年度

鶴ヶ岡地域振興計画

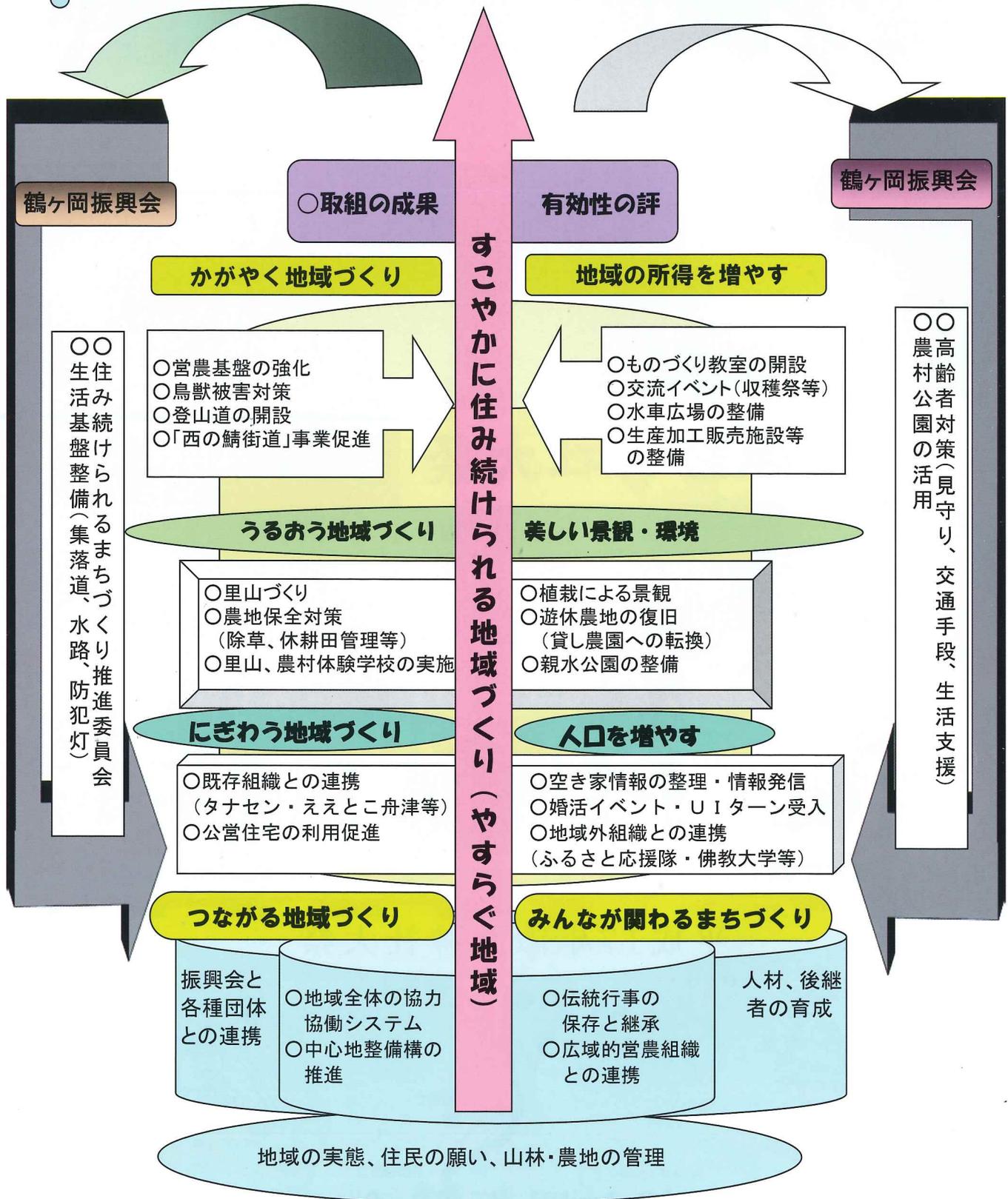


平成17年諏訪神社大祭

鶴ヶ岡振興会

鶴ヶ岡地域振興計画(地域の目指す将来像)

鶴ヶ岡 魅力あるまちづくり構想
誰もが「鶴ヶ岡地域に住み続けたい」と思える地域づくり



鶴ヶ岡振興会がリーダーシップを発揮し、住民の皆さんと力をあわせ、生活基盤の充実・住みやすい環境づくり・魅力あるまちづくりを計画的に進める。

地域の目指す将来像

1. にぎわう地域づくり(人口を増やす)

鶴ヶ岡地域の住環境等の整備を図るとともに、空き家情報を整理するなど地域の受入体制を構築し、地域出身者や都市住民に対して積極的な情報発信を行い、定住促進を図る。

- ① 空き家情報の整理・発信に努める。
- ② 「ふるさと応援隊」等の地域外の組織との協働を図り、地域のPRに努める。
- ③ 美山産官学公連携協議会のUターン・ターン定住促進プロジェクトと連携して定住促進を図る。

2. やすらぐ地域づくり(住み続けられるまちづくり)

誰もが生きがいを感じ、安心・安全に暮らせるように、交通手段の確保、医療・福祉の充実など、地域の生活環境基盤等の整備を推進する。

- ① 避難施設、避難路の整備等、生活環境基盤整備を進め、災害に強いまちづくりを行う。
- ② ふるさとサポート便等による生活支援体制の充実や、各世代・地域が助け合いつながる地域づくりを目指す。
- ③ 地域内輸送サービスの整備を検討し、移送手段確保を目指す。
- ④ 高齢者が自ら行う事が困難な生活課題に対し、支え合える体制を構築する。

3. かがやく地域づくり(地域の所得を増やす)

地域資源を有効活用するとともに、特産品の開発や都市農村交流で生まれるつながりを生かした流通促進、また、基幹産業である農林業の振興を目指した営農基盤整備を進めることで、地域の所得向上と就労機会の創出を図る。

- ① 地域資源を活用した加工食品の開発・販売戦略を検討する。
- ② 「ものづくり教室」を開催し、高齢者の生きがいを創出するとともに、新たな特産品の開発につなげる。
- ③ 収穫祭(農林産物品評会・手づくり産品即売会)等交流イベントを実施し、生産意欲の向上と特産品の販路拡大につなげる。
- ④ 生産施設や加工販売施設、農村レストランなどを創設・整備し、地域の所得向上を図る。
- ⑤ 農業用施設や獣害防護柵の維持管理、農地の効率的な活用による生産基盤の向上を図り、地域で支え合う営農体制を構築する。

4. うるおう地域づくり(美しい景観・環境を守り育てる)

里山づくりや花木などの植栽や自然景観を活用した観光資源の開発を行うことにより、美しい農村景観をかけがえのない財産として守り育てる。

- ① 明るく開放的な里山景観を創出するとともに、風雪害での倒木によるライフラインの断絶を防ぎ、野生鳥獣とのすみわけを行う。
- ② サクラ・モミジ・アジサイ・ツツジ・水仙等を植栽し、四季折々の彩りある美しい集落景観を創出する。
- ③ 畦畔・道路沿いの除草や休耕田の管理等、農地保全対策を講じる。
- ④ 貸し農地や貸し農園、観光農園等を設け、遊休農地の活用を検討する。
- ⑤ 里山体験学校や農林業体験学校等を実施し、景観・環境の次世代の担い手を育成する。
- ⑥ 伝統文化を継承していくため、保存会等の設立により一括した保存方法を検討する。
- ⑦ 西の鯖街道協議会との連携を図り、景観・自然・歴史・文化を活かした街道の振興を図る。
- ⑧ 登山道や散策道の整備・維持管理を行い、誰もが訪れやすい環境整備を進める。

5. つながる地域づくり(みんなが関わるまちづくり)

将来にわたって住みよい地域を次の世代へ引き継ぐため、世代・性別・職種によらず多様な個性・特技が最大限発揮できる仕組みを構築する。

- ① 振興会と各団体等との更なる連携強化を図る。
- ② 幅広い層が課題を共有し、マンパワーを有効活用できる組織体制を構築する。
- ③ 地域振興計画を推進するため必要に応じてプロジェクトチームや委員会を設置する。
- ④ 地域振興計画を周知するとともに、広く意見やアイデアを募集することにより住民の意識の向上を図る。